

WAKABA

令和3年 9月24日発行 文責:上田知己

各学部授業体験会を実施しました

夏季休業中に、小学部、中学部、高等部の授業体験会および説明会を行いました。今年度もコロナウイルスによる感染症対策に配慮した上で、時間を短縮しての体験会となりました。参加者からは、「不安感の大きい児童生徒にとって、体験できる機会は貴重でありがたかった」という感想を多くいただきました。

小学部の授業体験会は、年長幼児19名と、保護者・関係者30名の参加がありました。幼児は各教室に分かれての自由遊び、その後、朝の会、音楽の授業を体験しました。「支援学校の様子がわかってよかった」という感想を多数いただきました。

中学部の授業体験会は、小学校6年生14名と、保護者14名、関係者4名の参加がありました。美術の小箱作りを行いました。「来る前は緊張した様子の子どもも先生方に声をかけてもらって楽しそうに活動していて安心しました。」などの感想をいただきました。

高等部授業体験会は、中学校3年生23名、保護者32名(含む本校中学部3年保護者)、学校関係者11名の参加がありました。はじめの会を全体で行った後、「木工班」「クリーン班」「クラフト班」「環境メンテナンス班」に分かれて作業学習を体験しました。暑い中でしたが、窓の清掃作業やビーズストラップづくりなどを体験し、「貴重な体験ができた」「高等部の授業の様子がわかった」などの感想をいただきました。

★ 本校への就学、進学、受験を検討されている皆様へ

教育相談では、学校に関わる個別の質問にお答えしたり、お子さんの詳しい状況などについてお聞きしたりします。本校に就学した場合のスムーズな移行につなげられるようにしたいと考えています。入学してから、「思っていたことと違う」「こんなはずでは・・・」ということにならないように、事前に学校のことやお子さんのことをお互いに理解していきたいと考えています。是非、教育相談をご活用ください。

教育相談を受けるにあたってのお願い

- ・必ず事前に電話でご連絡ください。
(年長児につきましては保護者から、小学6年生、中学3年生につきましては学校の先生を通してご連絡ください。)
- ・感染症拡大防止の観点から、教育相談で来校される場合は、健康チェックのご協力をお願いします。詳細は、本校ホームページにある健康チェック表をご確認の上、教育相談当日に、ご持参ください。

わかばちゃん「ちょっと聞いてくりよ〜し」



かもしれない

今回は、あなたの知らない世界の話。と言っても、ホラー話ではありません。
特性のある子どもの感覚についてです。

こんな子いませんか？



光をまぶしがる



特定の音を嫌がる



衣服を嫌がる



体をゆらす



落ち着きがない



偏食が激しい

これらの行動には・・・



感覚の過敏さが関係していることがあります

あるアスペルガー症候群の方のお話では・・・

体調によって空が
紫に見える

食材が砂みたい
に感じる

雨が針のように
刺さる

ジェットコースター
に乗っているみた
いに景色が動く

耳元で、黒板に爪を
立てて、キーキーされ
ているように聞こえる

こんな世界もあるそうです

砂ご飯はおいしくないですよ。針だらけの服は着たくないよ。景色が動いていたら落ち着かないよね。耳元で黒板キーキーされたら耳ふさぐよね。行動の裏にはこんな理由があるのかもしれない。感覚過敏に対する対処法もいろいろありますが、無理強いないことが原則といわれています。今自分が見ている世界がすべてではなく、こんな世界もあるのかもしれないと想像しながら、子どもが不快に感じる原因を取り除いてみることで、行動が改善されるかもしれません。

山梨県立わかば支援学校

〒400-0226 南アルプス市有野3346-3

TEL: 055-285-1750

FAX: 055-285-5827

担当: 地域支援部 (丸山 なつ江 木村 千里 武井 明子 鮫田 直子)

[URL] <http://www.wakabay.kai.ed.jp/>

[E-Mail] wakabas@wakabay.kai.ed.jp